

山名・山域	飯豊連峰
山行目的	リーダー学校 同期会
山行期間	平成 29 年 8 月 6 日～11 日
参加者	5 名

※ ルート、コースタイム

- 6 日：東京駅 10:00→米沢 12:08/16→小国 13:46/14:20→町営バス→飯豊山荘 15:10 泊
- 7 日：飯豊山荘 4:40⇒湯沢峠⇒梶川峰 9:20⇒扇ノ地紙⇒門内小屋 11:15（昼食休憩 60 分）
⇒北股岳⇒梅花皮小屋 14:20 泊 【歩行時間】 9 時間 10 分 【天候】 晴れ
- 8 日：梅花皮小屋泊（台風接近のため稜線上強風 移動は取りやめ小屋待機）
- 9 日：梅花皮小屋 8:30⇒烏帽子岳⇒御西小屋 11:45（台風が動かず雨の中を歩く）御西小屋泊
【歩行時間】 4 時間 10 分
- 10 日：御西小屋 5:00⇔大日岳往復 6:15 御西小屋 8:30⇒飯豊山 10:00⇒本山小屋 10:35
⇒切合小屋⇒三国小屋 14:30 【歩行時間】 8 時間 45 分 【天候】 晴れ
- 11 日：三国小屋 5:00⇒地藏山⇒川入バス停 9:40【歩行時間】 4 時間 40 分 【天候】 雨
バスで途中下車 飯豊の湯 タクシーで磐越西線の山都駅→郡山→東京帰宅 18:00

山行記録（記録性を重視し、コースの状況・特徴、注意点、必要になった用具など）

各非難小屋には管理人がいて、カップめん等の食材があった。宿泊費は前後小屋により違い 2000 円前後。水場は各所にあり。

8 月 7 日の行程を明日来る台風を考えて、梅花皮小屋まで歩くことに変更。

飯豊山荘の目の前には、丸森尾根の登山口がある。梶川尾根は少し石ころび沢方向へ歩きゲート、橋を渡る。この橋は増水すると、頻りに渡れなくなるそうで、下山の際には注意が必要。

橋を渡るとすぐ、今日登る梶川尾根の登山口。最初からずっと湯沢峠まで急登。それも 1 歩が大きくなければ登れないような道、五郎清水の手前で両足の太ももがつってしまい、芍薬甘草湯のお世話になる。五郎清水は登山路から下って 5 分程度のところ。美味しい水が沢山湧いてタオルで体を冷やしとても気持ち良かった。そのあとも、風のない蒸し暑い中、門内小屋に着いたときはへとへと。この日は、大変暑い日で門内小屋で 29 度。小屋の近くの水場で水を確保し 1 時間の休憩で疲れをとる。

梅花皮小屋までの稜線上は、眺めも良く快適。突然変異の白い飯豊りんどうがあるということで、ゆっくりと花を愛でながら歩く。

梅花皮小屋は、小屋の中に水洗トイレがあり、快適な山小屋。夕方より、台風の影響で強風となり、疲れていたが、風の音でよく眠れなかった。

8 日は、台風のため小屋待機とした。

9 日、台風が動かないので、雨の中をやむなく歩き、御西小屋まで。風雨でびしょぬれ。

10 日、快晴、大日岳をはじめとして大展望。大日岳山頂からは能登半島も見えた。飯豊山までの稜線は快適で大きな雪渓からの涼しい風の中、マツムシ草や飯豊リンドウなどの沢山の花や遠望を楽しみながら足取り軽やか。切合小屋から三国小屋までは、繰返しの上り下りで、岩場もあった。

11 日、夜半より雨が降り、今回のコースの一番の難所である剣が峰を下るのがとても心配。濡れている岩が滑りそうで、ゆっくりと慎重に下った。剣が峰が終わると、ぬかるみや木の根に注意しながらの下山。無事登山口に到着。

天候のため、小屋でのんびり過ごすことができ、より親睦が深まった。